



北カリマンタン 海と森の保全プロジェクト



© WWF-Japan

概要

世界でも有数の生物多様性の高さを誇るインドネシア・ボルネオ島。その一方で、著しい森林減少が続いており、数多くの野生生物が絶滅の危機に追い込まれています。例えば沿岸部においては、急速なエビ養殖業の発展による不適切なマングローブ林の伐採など、養殖業が与える環境への負荷が課題の一つとなっています。また、内陸部ではボルネオゾウをはじめとした多くの野生生物の生息地が失われ、人の生活圏に侵入し人との衝突を引き起こすなどの危機が高まっています。「北カリマンタン 海と森の保全プロジェクト」では、こうした問題に包括的に取り組むべく、ランドスケープの保全という大きな視点から、「海」と「森」の双方の環境問題に取り組んでいきます。



プロジェクトについて

1. 実施場所

プロジェクトは、ボルネオ島インドネシア領の北カリマンタン州で実施されます。沿岸部ではエビ養殖業が盛んに行われるなど重要な水産物の生産地であると同時に、内陸部には未だ広大な森林が残されており、ボルネオゾウやテングザルといった貴重な野生生物が生息する高い生物多様性を誇る地域です。



© Victor Fidelis Sentosa

2. ランドスケープの保全

北カリマンタン州は、2013年に東カリマンタン州から分離独立した新しい州です。独立以来、州内の土地をどのように利用していくかを定める「土地利用計画」の策定について議論が続いています。この計画は「海」と「森」、その両方に深く関わる重要なもの。環境に適切に配慮していない計画は、希少な野生生物の生息地である森林が開発されるなどの大きな環境問題に繋がります。WWFは、北カリマンタン州の政府機関や、州内の各県の機関、企業や他のNGOとともに、この土地利用計画がより環境に配慮されたものとなるよう、トレーニングの実施や政策提言活動に取り組んでいきます。



北カリマンタンの沿岸部、エビの養殖池(写真手前)やアブラヤシ農園(写真奥)が広がっており、開発が進んでいる様子が分かる。

© WWF Japan

3. 「海」の活動

北カリマンタンの沿岸部で盛んに行われているエビ養殖業。日本は、この地で生産されたエビの主要な輸入国の一つであり、エビ養殖による環境問題に深く関わっています。そのためWWFは、現地加工会社のPT. Mustika Minanusa Aurora (PT. MMA) 社、MMA社の日本最大のパートナーである株式会社ニチレイフレッシュとともに、この養殖業が環境や社会に配慮した持続可能なエビの生産が行われるよう、養殖改善プロジェクト（AIP）を実施しています。活動の目的は、エビ養殖業が水産養殖管理協議会（ASC）の基準を満たし、ASC認証を取得することです。ASCのエビ基準には、マングローブ林の再生が要件に含まれているため、この活動により、水産物の持続可能な生産だけでなく、多様な野生生物が生息する貴重なマングローブ生態系の保全にもつながります。



© WWF-ID M. BUDI Santosa



ASC (Aquaculture Stewardship Council) は、責任ある養殖業の認証を管理するための独立した国際的な非営利団体です。WWFとIDHの共同出資により2010年に設立されました。製品につけられるASCラベルは、その水産物が自然環境と社会への悪影響を最小限におさえて育てられたものであることを、消費者に約束するものです。

4. 「森」の活動

ボルネオ島では、急速な森林減少が続いており、これによって、多くの野生生物がその生息地を失っています。生息地を失った野生生物たちは、時に人の生活圏に入り込み、畑や住宅を荒らすなど、人との衝突を起こしてしまうことも珍しくありません。北カリマンタンには、絶滅危惧種であるボルネオゾウが生息しており、アブラヤシ農園などの農園への侵入と農作物への被害が問題となることがあります。このプロジェクトでは、土地利用計画への提言活動を通して、ゾウの生息地である森を守ることと同時に、地域の住民や政府機関に、ゾウとの衝突回避のための普及啓発活動や、村や農園に侵入してしまったゾウを傷つけずに森に追い返すためのトレーニングを実施します。



© WWF Indonesia

展望

日本から遠く離れたボルネオ島、その「海」と「森」の豊かな生態系は、エビやパーム油、木材などの生産地として、日本の消費と確かにつながっています。残された生物多様性を守るためには、自然資源をうまく利用していくことが不可欠です。生産地での土地利用計画が適切であれば、人の経済活動と、環境の保全活動、その両方に貢献することができます。エビ養殖の現場である海では、ASC認証の取得を目指して、持続可能なエビの生産とマングローブ生態系の保全に取り組みます。また、周辺地域の森では絶滅が危惧されているボルネオゾウと地域住民との衝突を防ぐトレーニングを行い、野生生物の生息地保全を実施します。「北カリマンタン 海と森の保全プロジェクト」では、持続可能な生産・調達から、環境保全の実現に取り組んでいきます。



© WWF Indonesia



© WWF-ID Dhimas Wiharyanto



© WWF-ID Dhimas Wiharyanto



私たちはWWFです

人と自然が調和して生きられる未来を目指して、地球規模の悪化をくい止めるさまざまな活動を実践しています。

wwf.or.jp

問い合わせ先

WWFジャパン（公財 世界自然保護基金ジャパン）
〒105-0014 東京都港区芝3-1-14 日本生命赤羽橋ビル6F
自然保護室 海洋水産グループ
fish@wwf.or.jp Tel: 03-3769-1718